

# 無書燈

No.151

輝く☆同窓生

「見えないものに支えられて

ー学びと共に歩んできた道ー

佐賀枝夏文 名誉教授 × 豊福麻記さん

大谷大学と私「中国仏教史研究の今昔」 大内文雄 名誉教授



輝く☆同窓生

# 「見えないものに支えられて —学びと共に歩んできた道—」

今回の「輝く☆同窓生」は、「子ども時代に自殺で親やきょうだいを亡くした私たちの声 —全国自死遺児500人調査—」の発起人の一人でもある豊福麻記さんと、大谷大学名誉教授の佐賀枝夏文先生による対談です。

豊福さんは、大谷大学短期大学部幼児教育科在学中に佐賀枝先生に出会われて、今日まで交流されています。

——豊福さんが、大谷大学短期大学部幼児教育科への進学を決めたきっかけをお聞かせください。

**豊福** 高校時代、ボランティア活動で障がいのある子どもたちと出会う機会がありました。うまく自分を表現できない子どもたちに、自分が重なり、障がいのある子どもたちの保育や福祉について学びたいと思い、幼児教育の道に進みました。

——入学してから先生に出会われた時のことを覚えておられますか。

**豊福** 最初に受けた授業で先生は、ご自身の喪失体験を語られました。先生を身近に感じたのは、私自身が5歳の時に父と死別した経験が根底にあったからだと思います。

——当時、先生はどのような教育や研究をされていたのでしょうか。

**佐賀枝** 福祉系の教員で、保育と福祉の授業を担当していました。自分の体験や福祉観をお話したことが豊福さんの心に響いたみたいですね。



幼教フェスティバルに向けて合奏練習に励んだ日々



小さな山村の幼稚園で勤務していた20代



2025年春、卒園してから20年以上を経ての再会

## ——豊福さんは、どのような学生生活を送られましたか。

**豊福** 学生生活は、本当に朝から晩まで多くの授業を受け、課題に追われていました。ピアノの授業が辛かった思い出もあります。また、旅行が好きで、長期休みには北海道や離島、地方の幼稚園や保育園にも見学や実習に行かせてもらいました。

当時の私は、保育とは元気に明るい子どもを育てることであり、がんばれば良い保育者になれると疑わずにいましたが、後にそうではないことを知ることになりました。先生は授業で「保育は受容と共感」と言われ、ありのままを受けとめること、子どもが抱える悲しみや心の痛みに目を向け、共にあること、歩むことの大切さを学んだ気がします。父との死別後、元気がなく明るくもなかった自分の子ども時代を肯定してもらった気がしました。

ある日、研究室で「バウムテスト（樹木画テスト）」をしてみない？」と先生に言われました。木を描き終わると、先生が「小さい時に辛い出来事があったのでは？」と言われました。その瞬間、声をあげて泣きました。初めて父の死について泣いた日でした。「5歳のときに泣いてよかったのだよ、泣かなくてはいけなかったのだよ」と言ってもらいました。自分の抱える喪失や生きづらさを自覚し、泣いてもいいことを知った大きな出来事でした。

**佐賀枝** 私はバウムテストを研究テーマにしています。しかし、その時は心理判定をしようと思ったわけではなくて、話のきっかけが欲しかったのです。

豊福さんがお父さんの死を自分の問題として抱えるようになった変遷を聞かせてください。

**豊福** 10年前に母が病気で亡くなり、その後親族から父の死が自殺であったと聞かされました。長年、過労による病死であると教えられてきたので、予期せぬ暴露に何日も泣き続けました。もう真実を、当時を、記憶する人は、誰もいませんでした。死後30年以上の時間が経ち、全ての公的記録は消失していました。

**佐賀枝** 遺された豊福さんが悲しみを抱えて今に至り、自死遺児支援の活動につながっていくんですね。

**豊福** 父の自殺という事実を知ってからでも誰にも言えませんでした。唯一、話を聞いてもらいたくて連絡したのが先生でした。

**佐賀枝** 豊福さんと「いのち」について語りあってきました。その中で「命は預かりもの」という言葉について考えたことがあります。

赤ちゃんが生まれたら「授かった命、大切にね」と言いますが、私は違うと思い始めたのです。「授かった命」だから自分のもの、だから自分でどうしてもいい、「授かった命だから放っといてくれ」、「私の命だからどうなってもいいじゃないか」と、暴走したりリストカットしたりする子どもたちが異口同音に言います。それはおかしいと思った訳です。「お預かりした命」ではないのかなということに思い至ったわけです。預かった命だったらいつ返してと言われるかわからない。なので、懸命に生きる道筋もできるだろうと。

お父さんも「お預かりした命」だったから、そのとき返せと言われたのだろうと話したことがあります。

**豊福** 先生は、「人生には、起承転結があって、いつか転じられるといいですね」ということも言われました。私は辛くて苦しくて一生転じられないと思ったのです。そしてなぜ転じなければいけないのかという気持ちもあって、見えない世界に反発しました。そんな私に「変われなくてもいいんじゃないかな、変われないでしよう」と言われましたね。私は父の死をなかったことにしたいし、やり直しをしたかった。そんな気持ちを先生にぶつけてきたように思います。

そんな私に、「豊福さんは、僕の教え子だから」と言ってくださった。反発しても、先生は一貫して見えない世界を届け続けてくださっています。卒業して何十年の月日を経て、真の「受容と共感」を届けてもらったのだと思います。

**佐賀枝** バウムテスト研究から始まって、実際の樹木を見ることが私のライフワークになりました。目に見えない世界というのは、その根っこのところだと思います。見える世界はあるわけけれども、でもそれを見えない世界で支えている大いなる「はたらき」があるということです。

「インド仏教遺跡研修」に参加した時には無憂樹、菩提樹、沙羅の木に出会いました。最近私は東京大空襲で残った戦災樹木や広島市の被爆樹木と言われる樹木を調べています。被爆し枯れた樹木が被爆二世を残しているのです。

樹木が教えてくれたことがあります。長崎で被爆したクスノキの二世に豊福さんを重ねてみました。「私は、なんで親木が被爆



して枯れていったのか恨みます」と考えるかもしれません。

しかし、被爆して枯れた親木のクスノキは、二世のクスノキに「生きて」と願いつけていると思うのです。被爆二世のクスノキは東本願寺前の「お東さん広場」に移植されています。

**豊福** 今はあの日、父が5歳の私を連れて逝かなかったのは、父が最後まで生き抜いた証ということかなと思いますし、母は自殺と言わなかったのではなくて、言えなかった、言わせない社会だったと思っています。

**佐賀枝** 豊福さんが今やっている自死遺児支援の活動について、調査の狙いと、何を実現したいかを聞いてみたいと思います。

**豊福** 8年程前に、グリーフ<sup>(※)</sup>サポートが確実に得られる社会の実現を目指す一般社団法人リヴオン代表の尾角さんの講演を聴き、死別は乗り越えなくてもいいし、揺らいでもいいということを知りました。遺児支援について、先進的な欧米諸国のグリーフサポートのリーフレットには、「泣いてもいいし、怒ってもいい、わからないことは聞いてもいい」ということが書かれ、遺児となった子どもたちに届けられていました。そうした学びの中で、グリーフケアやグリーフサポートという言葉に惹かれ、学びたいと思うようになりました。

3年前、コロナ禍で増えたオンライン研修で岡山県立大学の大倉さんの講演を聴いて心が揺らぎました。死に方にとらわれるのではなく、最後まで生き抜いた末の自殺ということに、自殺について差別していたのは他でもなく自分であり、死に優劣をつけるということは、生に優劣をつけることなのだとということを知りました。かつての自死遺児であるお二人の研究者の方との出会いが、現在の活動に繋がっています。

(※)グリーフとは「喪失体験から生じる様々な反応や状態」のこと  
『真宗僧侶とグリーフ』東本願寺出版

**佐賀枝** 豊福さんは自死遺児として生きている訳だけれど、自死遺児である子どもたちに何を伝えたいですか。

**豊福** 子どもたちには、泣いてもいいし、怒ってもいい、わからないことは聞いてもいいというメッセージを届けたいです。そしてたった一人でもいいからそう伝えてくれる大人がそばにいてほしいと願っています。私が抱えたグリーフと同様に、その子ども自身のグリーフを誰かが肩代わりすることはできないと思うのです。ただそれに向き合うための足場となるようなサポートは必要であり、届けられたらいいなと思っています。

**佐賀枝** どのような支援のシステムや組織を作りたいのですか。

**豊福** 子どもたちが手に取って読める心と知識の糧となるような絵本やリーフレットと、その子どもを取り巻く大人へのサポートブックやウェブサイトを作成したいです。必要とする支援と情報提供が届けられることで、自死遺児の子どもたちが自己選択・

自己決定・自己実現できるような支援体制を社会の仕組みとして作りたと思いました。

**佐賀枝** 第一歩として始めているところがあるのですか。

**豊福** 現在の日本は、大人へのサポートは少しずつ認知されてきましたが、子どもへのサポートはまだまだこれからです。子どものグリーフはなかったことのように扱われ、ケアやサポートから置き去りにされる社会のしくみや現実、怒りや違和感、悲しみを覚えました。そこで、子ども時代に家族の自殺を経験した当事者の声をまず集める必要性を感じました。そしてその声に基づいた支援ツールを作りたいと思いました。声の数だけニーズもあって、多くの声が集まれば、多くの人が活用できるツールができるのではないかと考えました。誰一人とり残さないという思いで、官民協同で作ることを目指していますが、かなり難航しています。500人の声を集めたいのにまだ80人ぐらいです。最期まで諦めずに力を尽くしたいと思っています。手を伸ばせば支援や情報に届く社会の実現を願い、自死遺児支援の必要性を行政と社会に提言していきたいと思っています。

——豊福さんは、子どもの時にこのような仕組みがあったらという思いで活動されているんですね。

**豊福** この調査は、親やきょうだいを自殺で亡くした当時0歳から19歳だった子どもが、死別後に親や親族、地域の関係者からどのような情報提供と支援を望んでいるのかを明らかにすることを目的としています。

同窓の皆様、調査の広報について、ご協力をお願いいたします。これは、研究のための調査ではありません。この先には、自死遺児支援という実践があります。かつての自死遺児が、今を生きる自殺で家族を亡くした子どもたちへ「一人じゃないよ」という声を届け合う相互のプロジェクトです。自死遺児への支援ツールや社会で支え合う仕組みを共に創っていきたくと思っています。私たちはこのプロジェクトを通して、未来に向かって共に伴走していきたくと考えています。皆さんからいただいた回答が、社会へのメッセージ、変革の原動力となります。この調査が、参加された皆様のグリーフサポートとなることを、また、自死遺児の子どもたちが自己選択、自己決定、自己実現できる社会を築くためのムーブメントとなることを願っています。

——最後に、お二人にお伺いします。まず豊福さんは大谷大学での学びが今のご自身にどう繋がっていると思われますか。

**豊福** 「見えるものより見えないものを」ということを問われ、語りかけてもらった大学生活でした。卒業後も「受容と共感」をこうして届けてくださったことが、私にとって何よりの大きな学びでした。大谷大学は、今も私の「生きる」を支え、学びを届けてくださっています。あの日、先生が「豊福さんは、僕の教え子だから」と言ってくださったように、私もそんなまなざしを子どもに





2026年3月、勤務する特別支援学校での卒業式



2号館 下村良之介先生の作品「翔」の前で

写真右：聞き手 古谷

届けられる大人の一人でありたいと思っています。

今度は私が自殺で家族と死別し、支援を必要とする子どもたちに「一人じゃないよ。泣いてもいいし、怒ってもいい、わからないことは聞いてもいい」ということをこのプロジェクトを通して、伝えたいです。

——佐賀枝先生には、福祉や保育、教育の現場で活躍する同窓の皆様にメッセージをお願いします。

**佐賀枝** 大谷大学の学びは、自分を通しての学びだと思えます。現場の全てのことが学びの材料になると思います。福祉、保育、教育の実践は、心理学者のユングが言う「星と星が線で結ばれて星座になる」というユング理論のように、現場での出会い、全てのことがいつか「つながり」そして「結ばれる」はずです。周りから見ればバラバラでも、つなぐと自分の生き方になり、いつかは星座になると思います。過去にとらわれることなく、苦しみは苦しみとして、楽しみは楽しみとして今日の前にある為すべきことを為していったらいいと思います。いただいた現場は、人間教育の場です。現場で生き、学び続けてください。

——本日は、ありがとうございました。



佐賀枝 夏文  
大谷大学名誉教授



豊福 麻記  
1993年度  
短期大学部  
幼児教育科卒

聞き手：古谷 伸子  
無盡燈編集委員(大谷大学 准教授)

〈対談日：2026年2月〉

## 「子ども時代に自殺で親やきょうだいを亡くした私たちの声 —全国自死遺児500人調査—」にご協力ください



死別後にどのような情報や支援が求められていたのかを明らかにし、今後の自死遺児支援につなげることを目的として、2025年4月よりアンケート調査を実施しています。本調査の趣旨にご賛同いただき、情報の周知・発信にご協力いただける方も、ぜひご覧いただければ幸いです。

この調査はクラウドファンディングによる寄付金と科学研究費助成事業、岡山県立大学教員研究費、教員研究旅費を活用して行なわれています。

### 〔調査メンバー〕

大倉 高志(岡山県立大学 保健福祉学部 准教授)  
尾角 光美(一般社団法人リヴオン代表)  
豊福 麻記(公立学校講師・本プロジェクト発起人)

詳細はこちらから  
ご確認ください。



### アンケート調査の参加者

0～19歳の間に親やきょうだいを自殺・自死で亡くした調査回答時に18歳以上の方  
(死別後6か月以上が経過していること)

### 調査で明らかにしたい課題

- ①自殺の事実や死因などの望ましい伝え方
- ②自殺現場を見た場合に必要な支援
- ③遺体との望ましい対面の仕方
- ④情報提供と支援のあり方



全国自死遺児500人調査 特別フォーラム「自殺/自死で家族を亡くした子どもと宗教者がたがうとき」  
2025.9.16撮影  
写真左：渡邊元浄さん(2002年度 文学部真宗学科卒)



# 大谷大学と私



## 中国仏教史研究の今昔

大内文雄 名誉教授

大谷大学の一般入試にまだ面接があった1966年に入学して史学科東洋仏教史学分野を専攻し、以降、文学部・大学院を通して野上俊静<sup>しゅんじやう</sup>先生のゼミに所属し中国仏教史学の基礎を学んだ。しかし振り返れば、専任講師として大谷大学に奉職する以前の殆どを占めることとなった旧東洋学研究室在勤の助手の時代こそが、その後の研究の行方を定める期間となっている。当時、大谷大学では東洋史(野上俊静・滋野井恬<sup>しずか</sup>・藤島建樹<sup>たてき</sup>)、東洋仏教史(稲葉正就<sup>しょうじゆ</sup>・滋賀高義・安藤智信)、中国文学(平野顕照<sup>けんしやう</sup>・河内昭円<sup>しょうえん</sup>・若槻俊秀)の三分野の諸先生に、そして学外では滋賀先生の推挽をいただいて関西大学の藤善真澄、京都大学人文科学研究所の牧田諦亮の両先生から学恩を蒙った。特に藤善先生にはご自宅での、中国仏教史基礎文献の多年にわたる解説・教授の御恩を賜り、牧田先生からは人文研・宗教研究室での先生主催の研究会への参加を許していただき、他大学の研究者との仏教史文献会読の機会を頂戴した。そして大谷大学での研究活動の今一つの柱が仏教史学会委員会の委員、また評議員としてであり、会長職までも経験させていただいた。

研究の出発点は、中国仏教の末法思想にあったが、そこから唐・道綽の『安楽集』に引用されている多数の中国撰述仏典、所謂疑偽經典の研究に向かい、これらの報告は幸いにも大谷学報等に掲載された。次いでこれらを記録する經典目録と、仏典流布の一形態としての石刻經典に関心が移り、前者では特に隋・費長房の『歷代三寶記』、唐・道宣の『大唐内典録』、則天武后時代の『大周刊定衆經目録』等を対象にして研究を進め、首尾完具して現存する中国撰述經典『浄度三昧經』や類書(仏教百科全書)として現存最古の『經律異相』へ関心を向け、後者は、南北朝時代の分裂状態から隋唐の統一へと向かう6～7世紀の時代相の把握を目的にして研究を進めた。それらの研究を集成して博士学位請求論文とし、それを後に『南北朝隋唐期 仏教史研究』(第一編『歷代三寶記』の研究—中国中世仏教における史学史的展開過程、第二編 中国中世仏教の地方的展開)として京都・法蔵館より公刊に附した。またこれらの研究過程の中で、唐・道宣(596～667)が著した多数の著述に対する総合的研究

が少ないことに気づき、気鋭の研究者の協力を得て、それらに遺されている多くの序文に対して訳注を施し、『唐・南山道宣著作序文訳注』(龍谷叢書50)として公にすることができた。

こうして来し方を顧みると、先師先輩、知友に恵まれ、今に至るまで研究を続けて来られていることを幸いに思う。同時にそのことに感謝しつつも、世の趨勢への同調が過ぎて、本学の立脚地が曖昧になることがあるとすれば、そのことを予知し、不断に革める姿勢が求められよう。

1947年6月 長崎県に生まれる  
1970年3月 大谷大学文学部卒業(東洋仏教史学)  
1972年3月 大谷大学大学院修士課程修了(仏教文化)  
1975年3月 大谷大学大学院博士課程満期退学(仏教文化)  
1983年4月 大谷大学講師  
1989年4月 大谷大学助教授  
1997年4月 大谷大学教授  
2008年3月 大谷大学 博士(文学)〈学位取得〉  
2013年4月 大谷大学名誉教授

2003年4月～2004年3月 大谷大学図書館長  
2004年4月～2006年3月 大谷大学大学院文学研究科長  
2006年4月～2008年3月 大谷大学図書館長  
2008年4月～2010年3月 大谷大学学監・文学部長

【専門】  
東洋史(中国史・中国仏教史)

【著書・論文】  
「七高僧ものがたり—仏陀から親鸞へ—」(単編著・東本願寺出版)  
「七寺古逸經典研究叢書 第2巻 中国撰述經典((其之二)『浄土三昧經』解題)」(共編・大東出版社)  
「南北朝隋唐期 仏教史研究」(単著・法蔵館)  
「唐・南山道宣著作序文訳註」(単編著・法蔵館)  
「安楽集に引用された所謂疑偽經典について—特に惟無三昧經・浄度菩薩經を中心として—」  
(『大谷学報』53-2)



# 同窓通信



## 大谷大学時代から未来へ

1994年度文学部文学科卒 高橋 明 美

多田 稔ゼミ、フォーク研究会  
〈元ラジオパーソナリティー、保険代理店鹿児島支社長〉

私は1991年に大谷大学文学部文学科に入学しました。

鹿児島県から京都に一人暮らしをする為に、転居してきた日はちょうど桃の節句でした。鹿児島県志布志市から出港している「さんふらわあ」という船に夕方乗り、翌朝大阪に着き、そこから電車を乗り継ぎ京都に到着。卒業するまで4年間、下京区で暮らし、地下鉄烏丸線で通学しました。

振り返ると、京都駅から徒歩1分の場所のマンションを借りて住んでいたのも、どこに行くにもアクセスが良く、京都の名所にも良く行きました。また、アルバイトにも励み、多くの出会いや貴重な体験や学びがあったり…。地元鹿児島から遠く離れた京都の大谷大学に通ったことで、私の人生の幅は大きく広がりました。

特に、クラスメイトやサークル仲間が、私の人生を開拓してくれたと言っても過言ではありません。クラスメイトの推薦で始めたのがラジオ局のアルバイト。芸能人を目の前に、初めは緊張しましたが、だんだん慣れて来て、本物のオーラを感じる楽しさを覚えました。有名人を目の前に物怖じせず対話出来るようになったのも、大学時代に経験したラジオ局の仕事のお陰、強いて言えば、推薦してくれたクラスメイトのお陰です。この経験から、現在も地元鹿児島県のコミュニティラジオ局で話す機会もあり、今に繋がっております。

また、今年3月までパーソナリティーとして勤めていた地元のラジオ局で、4月から新たにスポンサーとして番組を立ち上げました。内容は、新しい発想を形にするために頑張っている企業家の方々にゲストにお招きして、スポンサーである私も一緒にトークをする番組です。地域活性化に繋がりたいです。

もう一つ、サークル仲間と挑んだのが、雑誌の取材のアルバイトです。写真を撮ったり、試食した感想を書いたり、自分の感性を磨く仕事もさせて頂き、こちらも今に繋がっています。大学時代に、身近な友人達から私自身が気付いて無かった私の可能性を引き出してもらえたことは、かけがえのない私の財産です。

現在は、地元の鹿児島でアウトプットする仕事と、人に会う機会の多い保険代理店営業の仕事をしております。とにかく大谷大学時代には、素晴らしい体験や学びや、微笑ましいエピソードがたくさんあります。今後はそれらも含め、自分史の講演会を全国展開する予定です。大学時代に、人に寄り添うことの大切さを学びました。その学びを活かし、これからも仕事でもプライベートでも出逢いに感謝しながら、生きて行きます。

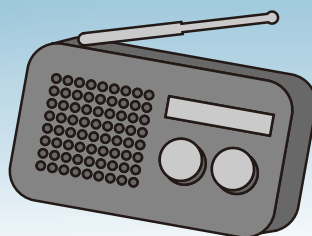
新番組

「0から1は無限大」

毎月第4木曜日

午後3:00～4:00 生放送  
(SOO Good FM87.4MHz)

提供: ポジティブアーチ





# 同窓会活動報告

## 2025 Alumni Activity Report

### 2025年度「卒業・修了ならびに 同窓会新入会員歓迎祝賀会」開催

2026年3月18日(水)、「卒業証書・学位記授与式」が挙行政され、式典終了後の16時30分よりザ・プリンス京都宝ヶ池において、「大谷大学卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会」が開催されました。2025年度、同窓会は約740名の新人会員を迎えました。

一楽真学長、藤嶽明信同窓会会長の祝辞の後、卒業・修了生代表の櫻井孝太さん(社会学部卒業)の乾杯発声により祝宴が始まりました。

会の終盤では、卒業・修了生有志による寮歌を披露していただき、祝賀会は大変盛りあがりを見せました。学生生活も最後となるこの日、一時を惜しむかのように和やかな雰囲気の中、恩師そして友だちとの語らいが続けられました。





祝賀会写真はこちらをチェック

大谷大学同窓会



## 2025年度同窓会学生支援表彰「菩提樹賞」の表彰式を行う

ザ・プリンス京都宝ヶ池での祝賀会開催中、同窓会学生支援表彰「菩提樹賞」の表彰式を行いました。

この「菩提樹賞」は、卒業・修了年次生のうち、在学期間中に学術・文化・スポーツ、ボランティア活動などの分野で顕著な成績や多大な成果を収め、大谷大学の発展に貢献した学生又は課外活動団体を表彰し、学生生活の充実に資することを願って同窓会より贈るものです。

2025年度は、以下の3団体が表彰されました。3団体とも複数のメディアに取り上げられ、大谷大学を広く知っていただく機会となりました。今後も、みなさんが一層活躍されることを期待しています。

〈分野:ボランティア〉

地域連携プロジェクト  
「モビリティデザインプロジェクト」

(代表:赤羽根 美乃)

「誰もが移動に困ることのない地域社会の実現」に向けて、公共交通体験型イベント「モビリティロゲイニング」の開催や高齢者を対象とした新たなモビリティの体験乗車など、公共交通の可能性について検証されました。この活動は、(公財)大学コンソーシアム京都の政策研究交流大会の本選に出場、また、(公財)関西交通経済研究センターの懸賞論文受賞につながる成果となりました。



〈分野:ボランティア〉

## 「網野町海浜漂着プラスチックの調査・清掃活動」

(代表:金子 穂高)

京丹後市において海浜漂着プラスチックの調査清掃活動を継続的に行い、地域住民や地元企業と連携しマイクロプラスチックの除去などの課題に取り組みました。この活動は2025大阪関西万博ブルーオーシャンドームでの報告発表につながる成果となりました。



〈分野:その他〉

大谷大学学生会  
「大谷サンドwichプロジェクト」

(代表:北山 航大・西森 愛菜)

前学生会プロジェクト「大谷もっとコーヒープロジェクト」を完成された先輩からバトンを引き継ぎ、「大谷大学らしいサンドウィッチ」を学内食堂や大学関係者の協力のもと試行錯誤を重ね、2025年7月に大谷大学オリジナルの「OTNサンド」を完成させ、学内カフェでの販売開始という成果につながりました。





# 同窓会活動報告

## 2025 Alumni Activity Report

### 2025年度「大谷大学公開講演会」開催報告

2025年7月～10月にかけて、「大谷大学公開講演会」ならびに「支部総会」を全国77支部71会場で開催しました。

この講演会は、全国に80支部ある同窓会支部と大谷大学とが協働して講演会を開催するもので、同窓生・在学生はもとより広く一般市民にも公開され、大谷大学の教育研究の成果を社会に公開し、地域社会の文化興隆に大きな役割を果たしています。

2025年度は台風等に見舞われることもなく、全ての会を開催することができました。各支部では懇親会も行われ、各地域で同窓生同士のつながりを深めておられました(2026年度の開催については、P.12をご確認ください)。



湖東支部



砂川支部



山形支部



小樽支部

### 「第27回ホームカミングデー」開催報告

2025年11月8日(土)、学園祭のにぎわいの中で「第27回ホームカミングデー」を開催しました。当日は同窓生約200名と先生方約30名が集い、懐かしさと笑顔あふれる一日となりました。

今年初の企画「クイズラリー」では、参加者の皆さんが「尋源館」や「大谷大学博物館」など学内5カ所を巡りながら挑戦し、楽しみながらキャンパスを歩く姿が印象的でした。特に「地域連携フェアテント」では、コミュ・ラボ10周年を記念した活動紹介が行われ、注目を集めていました。

さらに、職域や地域支部のブース、SNS企画のオリジナルガチャガチャで、会場は終始盛り上がりを見せました。

展示・模擬店表彰では、地域連携プロジェクトで活躍する「GOEN食堂」が受賞。代表学生の喜びのコメントに、会場はあたたかな拍手に包まれました。

また、混声合唱団・男声合唱のOB・OGの協力によるクラブPRも行われ、世代を超えた交流が広がるホームカミングデーとなりました。



当日の様子は本誌裏面(P.28)や同窓会ホームページでもご覧いただけます





# 2026年度 同窓会活動

最新情報はこちらをチェック

大谷大学同窓会



## 同窓会総会開催

2026年5月13日(水)に同窓会総会が開催され、右記の議案が承認されました。

【議 案】 (1)2025年度事業報告及び収支決算報告  
(2)大谷大学同窓会役員の改選について  
(3)2026年度事業計画及び収支予算(案)

【報告事項】 (1)特定非営利活動法人尋源舎の活動について  
(2)その他

## 2025年度大谷大学同窓会収支決算書

| 収入の部(単位 円)   |            | 支出の部(単位 円)      |            |
|--------------|------------|-----------------|------------|
| 科 目          | 決算額        | 科 目             | 決算額        |
| 1. 前年度繰越金    | 15,903,423 | 1. 事業費          | 10,140,979 |
| 2. 会 費       | 23,595,000 | 本部事業費           | 3,452,040  |
| 会費(1)        | 945,000    | 支部事業助成費         | 3,770,320  |
| 会費(2)        | 22,650,000 | 同期会・OB会等開催助成費   | 330,000    |
| 3. 入会金       | 3,775,000  | 学生会助成費          | 200,000    |
| 4. 寄付金       | 999,000    | 新入会員歓迎費         | 2,388,619  |
| 5. 同窓会基金取崩収入 | 0          | 2. 刊行費          | 2,825,278  |
| 6. 雑収入       | 782,260    | 無盡燈刊行費          | 2,336,290  |
| 7. 同窓会運用資金   | 25,000,000 | 印刷製本費           | 488,988    |
| 合 計          | 70,054,683 | 3. 事務費          | 4,017,351  |
|              |            | 本部事務局費          | 4,684      |
|              |            | 活動費             | 380,000    |
|              |            | 通信費             | 3,632,667  |
|              |            | 4. 旅費           | 5,089,640  |
|              |            | 5. 会議費          | 1,184,981  |
|              |            | 6. 委託費          | 1,788,587  |
|              |            | 7. 雑費           | 610,959    |
|              |            | 8. 同窓会基金繰入支出    | 3,737,538  |
|              |            | 9. 同窓会活性化準備金    | 276,480    |
|              |            | 10. 同窓会運用資金繰入支出 | 25,000,000 |
|              |            | 11. 予備費         | 0          |
|              |            | 合 計             | 54,671,793 |

収入の部-支出の部= 15,382,890(次年度繰越金)

## 2026年度大谷大学同窓会収支予算書

| 収入の部(単位 円)   |            | 支出の部(単位 円)      |            |
|--------------|------------|-----------------|------------|
| 科 目          | 予算額        | 科 目             | 予算額        |
| 1. 前年度繰越金    | 15,382,890 | 1. 事業費          | 11,540,000 |
| 2. 会 費       | 20,250,000 | 本部事業費           | 3,760,000  |
| 会費(1)        | 750,000    | 支部事業助成費         | 4,170,000  |
| 会費(2)        | 19,500,000 | 同期会・OB会等開催助成費   | 700,000    |
| 3. 入会金       | 3,250,000  | 学生会助成費          | 200,000    |
| 4. 寄付金       | 500,000    | 新入会員歓迎費         | 2,710,000  |
| 5. 同窓会基金取崩収入 | 0          | 2. 刊行費          | 2,802,000  |
| 6. 雑収入       | 790,110    | 無盡燈刊行費          | 2,211,000  |
| 7. 同窓会運用資金   | 25,000,000 | 印刷製本費           | 591,000    |
| 合 計          | 65,173,000 | 3. 事務費          | 4,335,000  |
|              |            | 本部事務局費          | 75,000     |
|              |            | 活動費             | 380,000    |
|              |            | 通信費             | 3,880,000  |
|              |            | 4. 旅費           | 5,485,000  |
|              |            | 5. 会議費          | 1,538,000  |
|              |            | 6. 委託費          | 2,080,000  |
|              |            | 7. 雑費           | 530,000    |
|              |            | 8. 同窓会基金繰入支出    | 200,000    |
|              |            | 9. 同窓会活性化準備金    | 800,000    |
|              |            | 10. 同窓会運用資金繰入支出 | 25,000,000 |
|              |            | 11. 予備費         | 10,863,000 |
|              |            | 合 計             | 65,173,000 |

## 2026年度役員一覧 (2026.5.13現在)

会 長 藤 嶽 明 信  
副会長 加 藤 隆 昭  
副会長 高 木 文 善  
理事長 平 野 寿 則  
常務理事 奥 村 豊  
常務理事 藤 原 憲  
常務理事 日 野 隆 文

理 事 木 村 清  
理 事 栗 原 宣 如  
理 事 菅 原 信 顕  
理 事 月 輪 淳 裕  
理 事 難 波 明 則  
理 事 藤 原 一 章  
理 事 本 間 義 悦

理 事 村 上 秀 磨  
理 事 横 田 力  
理 事 和 田 一 丸  
監 事 長谷岡 英 信  
監 事 藤 坂 初 裕  
顧問 木 越 康  
常務理事 福 島 栄 寿

常務理事 速 水 馨  
常務理事 藤 元 雅 文  
常務理事 中 島 弘 喜  
常務理事 廣 川 智 貴  
常務理事 采 翠 晃  
学内理事 川 端 泰 幸

(無盡燈編集委員 川端 泰幸・古谷 伸子・采翠 晃)

## 全国各地での「大谷大学公開講演会」開催!

2026年度も全国各地で「大谷大学公開講演会」を開催します。是非、ご参加ください。  
大谷大学公開講演会の開催日時、会場等については、本誌P.12または同窓会ホームページをご確認ください。

※天候等により、急遽、開催中止となる場合はホームページにてお知らせいたします。

大谷大学  
公開講演会詳細

大谷大学同窓会 HP



2026年7月上旬より、全国71会場で開催！ 共通テーマ「Be Real 真実と現実」

## 2026年度「大谷大学公開講演会」および「同窓会支部総会」開催一覧 【76支部71会場】

| 地 区       | 支部名       | 開催日程     | 講 師                 | 講 題                                      |
|-----------|-----------|----------|---------------------|------------------------------------------|
| 【北海道地区】   | 函 館       | 8月27日(木) | 学 長 木 越 康           | Be Real 真実と現実                            |
|           | 小 樽       | 7月26日(日) | 前 学 長 一 楽 真         | 真実に出会い、現実を生きる                            |
|           | 札 幌       | 8月22日(土) | 准 教 授 コンウェイ マイケル J. | 娑婆世界と安養浄土のかわりめ                           |
|           | 砂 川       | 7月4日(土)  | 教 授 西 本 祐 攝         | Be Real 真実と現実 ―愚禿の親鸞という御言葉―              |
|           | 北 の 国     | 7月7日(火)  | 名誉教授 山 本 和 彦        | 真実と現実 ―智慧と慈悲の実践―                         |
|           | 旭 川       |          |                     |                                          |
|           | 名 寄       | 7月25日(土) | 前 学 長 一 楽 真         | 真実に出会い、現実を生きる                            |
|           | 室 蘭       |          |                     |                                          |
|           | 深 川       | 9月10日(木) | 准 教 授 藤 原 正 寿       | Be Real 真実と現実 ―親鸞聖人からの問いかけ―              |
|           | 十 勝       | 7月8日(水)  | 名誉教授 山 本 和 彦        | 真実と現実 ―智慧と慈悲の実践―                         |
|           | 網 走       | 8月26日(水) | 名誉教授 加 来 雄 之        | 浄土真宗のリアリティ                               |
|           | 紋 別       | 8月25日(火) | 名誉教授 加 来 雄 之        | 浄土真宗のリアリティ                               |
| 【東北地区】    | 釧 根       | 7月30日(木) | 名誉教授 藤 嶽 明 信        | Be Real 真実と現実 ―仏教・真宗を通して―                |
|           | 青 森       | 9月9日(水)  | 教 授 中 野 加 奈 子       | 語り継ぐことが支援になる ―貧困・孤立・災害の記憶から考える           |
|           | 岩 手       | 8月20日(木) | 教 授 箕 浦 暁 雄         | 真実と現実                                    |
|           | 宮 城       | 9月8日(火)  | 教 授 中 野 加 奈 子       | 語り継ぐことが支援になる ―貧困・孤立・災害の記憶から考える           |
|           | 秋 田       | 9月8日(火)  | 准 教 授 藤 原 正 寿       | Be Real 真実と現実 ―親鸞聖人からの問いかけ―              |
|           | 山 形       | 7月28日(火) | 名誉教授 藤 嶽 明 信        | Be Real 真実と現実 ―仏教・真宗を通して―                |
|           | 福 島 県     | 9月26日(土) | 教 授 アマ ミチヒロ         | 「世を離れて世に処せよ」                             |
| 【関東地区】    | 茨 城       | 9月27日(日) | 前 学 長 一 楽 真         | 真実に出会い、現実を生きる                            |
|           | 栃 木       | 9月13日(日) | 教 授 富 岡 量 秀         | Be Real 真実と事実 ―真実を知る・事実を知る「学びと育ち」とは―     |
|           | 群 馬       | 7月22日(水) | 名誉教授 加 来 雄 之        | 浄土真宗のリアリティ                               |
|           | 埼 玉       | 9月12日(土) | 教 授 富 岡 量 秀         | Be Real 真実と事実 ―真実を知る・事実を知る「学びと育ち」とは―     |
|           | 千 葉       | 9月1日(火)  | 教 授 西 本 祐 攝         | Be Real 真実と現実 ―愚禿の親鸞という御言葉―              |
|           | 東 京       | 8月4日(火)  | 教 授 藤 枝 真           | Be Real 真実と現実 ―人口減少社会における「弔う人間」―         |
|           | 神 奈 川     | 8月3日(月)  | 教 授 藤 枝 真           | Be Real 真実と現実 ―人口減少社会における「弔う人間」―         |
|           | 山 梨       | 9月13日(日) | 准 教 授 矢 野 永 吏 子     | Be Real 真実と現実 ―子どもの主体の育ちにむける願い―          |
|           | 信濃学友会     | 9月16日(水) | 講 師 松 金 直 美         | 往来する人々と地域の真宗                             |
|           | 三 条       | 9月1日(火)  | 元 教 授 四 方 保 仁       | Be Real 真実と現実                            |
| 【信越地区】    | 上 越       | 8月31日(月) | 元 教 授 四 方 保 仁       | Be Real 真実と現実                            |
|           | 静 岡 県     | 8月29日(土) | 教 授 田 中 久 美 子       | 「わかっていてもできない…」心理学からみた健康行動の習慣化            |
|           | 三 為 会     | 8月25日(火) | 教 授 平 野 寿 則         | Be Real 真実と現実 ―私と「歴史」―                   |
| 【東海地区】    | 尾張学友会     | 9月10日(木) | 准 教 授 大 原 ゆ い       | 家族を介護するケアラーの実態とこれからの支援のかたち               |
|           | 三 重       | 9月10日(木) | 名誉教授 藤 嶽 明 信        | Be Real 真実と現実 ―仏教・真宗を通して―                |
|           | 大 垣       | 9月9日(水)  | 前 学 長 一 楽 真         | 真実に出会い、現実を生きる                            |
|           | 岐 阜       | 8月31日(月) | 准 教 授 小 川 直 人       | 異なるを歎く ～真実と現実の間で～                        |
|           | 都 上       | 8月30日(日) | 准 教 授 小 川 直 人       | 異なるを歎く ～真実と現実の間で～                        |
|           | 飛 騨       | 8月2日(日)  | 教 授 西 本 祐 攝         | Be Real 真実と現実 ―愚禿の親鸞という御言葉―              |
|           | 富 山       | 8月19日(水) | 教 授 酒 井 恵 光         | 「伝える」ことを考える                              |
|           | 高 岡       | 8月24日(月) | 名誉教授 佐賀枝 夏 文        | 別れを機縁として仏縁に出会う                           |
| 【北陸地区】    | 金 沢       | 8月27日(木) | 准 教 授 上 野 牧 生       | 利他を生きる                                   |
|           | 能 登       | 8月29日(土) | 教 授 藤 枝 真           | Be Real 真実と現実 ―人口減少社会における「弔う人間」―         |
|           | 小 松       | 8月21日(金) | 教 授 藤 元 雅 文         | Be Real 真実と現実 ―親鸞聖人の歩みから―                |
|           | 奈 良 寺     | 8月20日(木) | 教 授 酒 井 恵 光         | 「伝える」ことを考える                              |
|           | 福 井       | 9月11日(金) | 准 教 授 上 野 牧 生       | 利他から考える                                  |
|           | 若 狭       | —        | —                   | —                                        |
|           | 長 浜       | 7月12日(日) | 教 授 東 館 紹 見         | 聖徳太子と親鸞 ―「真実」と「現実」に生きた人―                 |
|           | 湖 東       | 8月29日(土) | 教 授 アマ ミチヒロ         | 「世を離れて世に処せよ」                             |
|           | 湖 南       | 9月6日(日)  | 教 授 三 木 彰 円         | “聞き続ける”という生き方                            |
|           | 湖 西       | 9月19日(土) | 教 授 藤 元 雅 文         | Be Real 真実と現実 ―親鸞聖人の歩みから―                |
| 【近畿地区】    | 京 都       | 8月2日(日)  | 学 長 木 越 康           | Be Real 真実と現実                            |
|           | 丹 但       | 9月4日(金)  | 教 授 東 館 紹 見         | 聖徳太子と親鸞 ―「真実」と「現実」に生きた人―                 |
|           | 丹 後       | —        | —                   | —                                        |
|           | 大 阪 北     | 9月11日(金) | 講 師 松 金 直 美         | 真宗の女性像                                   |
|           | 大 阪 市     |          |                     |                                          |
|           | 大 阪 東     |          |                     |                                          |
|           | 大 阪 南     |          |                     |                                          |
|           | 神 戸       | 9月26日(土) | 教 授 福 島 栄 寿         | いま、『生まれる 生きる 生かされる』から考えさせられること           |
|           | 阪 神       | 9月4日(金)  | 准 教 授 小 川 直 人       | 異なるを歎く ～真実と現実の間で～                        |
|           | 和 歌 山     | 8月30日(日) | 教 授 川 端 泰 幸         | Be Real 真実と現実 ―豊臣兄弟と紀州                   |
|           | 良 磨       | 8月21日(金) | 教 授 平 野 寿 則         | Be Real 真実と現実 ―私と「歴史」―                   |
|           | 播 磨       | 9月4日(金)  | 教 授 新 田 智 通         | 仏教における輪廻の意味 ―共通テーマ「Be Real 真実と現実」を踏まえつつ― |
| 【中国・四国地区】 | 鳥 取       | 9月6日(日)  | 准 教 授 大 原 ゆ い       | 家族を介護するケアラーの実態とこれからの支援のかたち               |
|           | 島 根       | 9月1日(火)  | 教 授 川 端 泰 幸         | Be Real 真実と現実 ―戦国社会と真宗                   |
|           | 岡 山       | 8月26日(水) | 教 授 新 田 智 通         | 仏教における輪廻の意味 ―共通テーマ「Be Real 真実と現実」を踏まえつつ― |
|           | 福 山       | 9月12日(土) | 准 教 授 コンウェイ マイケル J. | 娑婆世界と安養浄土のかわりめ                           |
|           | 広 島       | 8月27日(木) | 教 授 東 館 紹 見         | 聖徳太子と親鸞 ―「真実」と「現実」に生きた人―                 |
|           | 山 口       | 9月9日(水)  | 准 教 授 本 明 義 樹       | Be Real 真実と現実                            |
|           | 四 国       | 8月24日(月) | 准 教 授 戸 次 頭 彰       | Be Real 真実と現実 ―あるがままを見つめる仏教―             |
|           | 福 岡       | 9月12日(土) | 准 教 授 戸 次 頭 彰       | Be Real 真実と現実 ―あるがままを見つめる仏教―             |
| 【九州地区】    | 久 留 米     | 8月26日(水) | 教 授 箕 浦 暁 雄         | 真実と現実                                    |
|           | 佐 賀       | 8月25日(火) | 教 授 箕 浦 暁 雄         | 真実と現実                                    |
|           | 大 分       | 9月1日(火)  | 教 授 平 野 寿 則         | Be Real 真実と現実 ―私と「歴史」―                   |
|           | 北 九 州     | 8月26日(水) | 名誉教授 門 脇 健          | 親鸞聖人の新しさとお葬式                             |
|           | 長 崎       | 8月25日(火) | 名誉教授 門 脇 健          | 親鸞聖人の新しさとお葬式                             |
|           | 熊 本       | 8月27日(木) | 講 師 松 金 直 美         | 真宗の女性像                                   |
|           | 宮 崎       | 9月1日(火)  | 准 教 授 古 谷 伸 子       | Be Real 真実と現実 ―タイにおける伝統医療の事例から―          |
|           | 鹿 児 島     | 9月8日(火)  | 准 教 授 本 明 義 樹       | Be Real 真実と現実                            |
| 【外国】      | 韓 国 同 窓 会 | —        | —                   | —                                        |
|           | 中 国 同 窓 会 | —        | —                   | —                                        |

は仏教公開セミナーとして、NPO法人「尋源舎」と共催。

# 同窓会支部だより

## 山形支部のこのごろ

支部長 高橋 晃俊

私が山形支部総会に参加するようになったのは2代前の菅生支部長の頃からでした。当時は予決算を読んで終わったような気がします。参加者も数名でしたし、谷大の先生のお話を聞くことなどなかったと思います。先代の織江支部長のころから先生のお話を聞くようになったと記憶します。終了後の先生を囲んでの懇親会には10数名の支部会員が参加してくれました。私が支部長になって現在まで、谷大の先生からお話を聞くときを支部総会として、以前からの踏襲にて開催しています。事務局としてずいぶん長くお世話いただいている水澤さんが、山形県内に在住する同窓生に案内と会費のお願いを送ってくれます。大変な事務仕事なのですが、毎年毎年参加者がチョボット。もうやめようかと幾度も思いながら今に至っているのが現状かもしれません。数年前、一人の門徒さんから「止めないでほしい」と懇願されたことを思い出します。何とか持続してはいますが、思いはフラフラしています。昨年、一楽先生(当時、学長)が講師としてお話しいただきました。会場が40名くらいの会場でしたが、満杯の聴衆に、私たちは驚きでした。県外からも

来ていただいたようです。終了後、学長の人気は勿論あるのですが、真宗学の先生に聞きたいというのが優先してあるのかなと事務局と話し合っているところです。

山形県は各市町村に温泉のあるエリアで、果物大国と自負しサクランボにいたっては日本一を誇ります。ただこの数年、厳しい温暖化による不作が続きます。それでも山形に来る人たちが声を揃えて「食べ物がおいしい」と言ってくれます。是非、来てもらっしやい。



## 鳥取支部のご紹介

鳥取支部長 藤枝 良太

鳥取県は昔、因幡の国と伯耆の国に分かれていました。なので、いまでも、因伯という呼び名がいろんな業種で使われています。中でも、この鳥取支部になじみ深いのは、因伯組という名称です。

大谷大学は真宗大谷派の学寮をもととする学校ですが、この真宗大谷派が教区や組といったようにエリアを細分化し、その一つに因伯組があります。つまり、大谷大学同窓会で言えば鳥取支部、真宗大谷派で言えば因伯組である鳥取県なのです。

振り返ってみれば、鳥取支部の活動開始の下準備として、県内の同窓生に往復はがきでアンケートを採ったのが2016年2月9日、この原稿の締め切り日でちょうど10年たった今、思うことは・・・とにかく参加者が無い。同窓生として参加しているのは、私を含めた執行部の3人のみです。

主な活動はもちろん公開講演会の開催です。大学の先生から、その研究の最先端を間近に聞く得がたい機会は毎回新鮮で、田舎だからこそ継続したい活動です。毎回20人前後の参加者がありますが、ほぼ因伯組関係の方々と共に聞かせていただいています。これまでに、お一人だけ執行部以

外の同窓生が講演会に来られたことがありました。小さなお子さんをおぶって講師の先生にお土産を渡しに来られたのでした。講演が終わるのを待って入ってこられたその方は、懐かしそうに先生とお話ししておられました。10年でこの1回。私は、この1回に手応えを感じています。因伯組も鳥取支部も同じなのですが、こうした会は参加者の多少や活動の衰勢ではかられがちです。その中にあって、こんな零細な支部にも中央と同じ熱量で支援してくださる同窓会本部に深く感謝しながら、次の会を開き続けていきたいと思っています。



執行部メンバー  
本人中央





### 大谷大学第30代学長に 木越 康 教授が就任

任期満了に伴う学長選挙において、最終候補者として選出された木越康教授(文学部真宗学科)が、大谷大学第30代学長に就任されました。

任期は、2026年4月1日～  
2030年3月31日までの4年間  
です。

〈総務課〉



大谷大学 学長メッセージ



### 名誉教授の称号贈られる

本学に永年勤務し、学術の成果をあげ本学に貢献された方に贈られる名誉教授の称号が3名の先生に贈られました。

授与式は2026年4月1日に学長室において行われました。

〈総務課〉



國中 治 先生  
(国文学(近代文学))



松川 節 先生  
(人文情報学/東洋史学)



山本 和彦 先生  
(仏教学)

### 課程博士の学位を授与

2025年度、博士後期課程修了者4名に博士(文学)の学位が授与されました。

〈教務課〉



本多 正弥 氏  
(真宗学)



禹鍾仁 氏  
(仏教学)



酒井 ゆき 氏  
(仏教文化)



新井 真帆 氏  
(仏教文化)

### 木越 康 教授に博士(文学)の 学位が授与される

2026年3月23日、木越 康教授が  
学位論文「他力仏道の萌芽研究—  
隆寛『具三心義』全文読解を通して—」により、大谷大学から博士(文学)の学位が授与されました。

〈教務課〉



木越 康 教授(真宗学)

### 2026年4月、「数理教育専攻」開設

教育学部初等教育コースに「数理教育専攻」が開設されました。数学と向き合い、教えることの楽しさを知り、学び続ける先生を育てます。

数学は少し苦手という場合のフォローアップ講習も充実。教育学部の魅力をホームページで紹介しています。



### 2027年春、国際学部 京都文化学科<sup>(※)</sup>誕生

京都文化学科では、プロジェクト型の学びで、地域と世界をつなぎ、京都の文化を大切にしながら、伝統の良さを広められる人を育てます。

京都の街に出て、人と出会いながら、将来につながる実践力を身につけます。

また、映像・文章・SNSで京都の魅力を表現し、英語も使って、国内外へ発信する力を養います。

(※)設置届出中



広告



みんなと  
いっしょで  
よかった。

大谷大学指定推奨

プラサーダ Otani

大谷大学女子学生専用

2021年3月築

大谷大学まで徒歩4分。

家具付きのシェアハウスです。



株式会社フラットエージェンシー 本店営業部 TEL: 0120-75-0669

宅地建物取引業免許番号 京都府知事免許 (10) 第7189号  
公益社団法人京都府宅地建物取引業協会会員 公益社団法人近畿地区不動産公正取引協議会加盟店 取引態様〈貸主〉

最新情報はこちらをチェック

大谷大学



## 大学人事情報

2025年5月1日～2026年4月30日

## —— 名誉教授の称号授与 ——

國中 治 松川 節 山本 和彦  
授与日:2026年4月1日

## —— 執行部の交代 ——

【大谷大学長(第30代)】 木越 康  
(任期は2030年3月31日まで)

【学監・副学長】 福島 栄寿  
【学生部長】 上野 牧生 (再任)  
【入学センター長】 富岡 量秀  
【教育学部長】 田中久美子  
【大学院人文学研究科長】 東館 紹見  
2026年4月1日付(各通)

## —— 館長等の交代 ——

【図書館長】 中川 眞二 (再任)  
【博物館長】 平野 寿則  
【学寮長】 小川 直人  
2026年4月1日付(各通)

## —— 附属幼稚園長の交代 ——

【幼稚園長】 緒方 知子 (再任)  
2026年4月1日付

## —— 定年退職 ——

【教育職員】  
一案 真 (教授/文学部)  
國中 治 (教授/文学部)  
四方 保仁 (教授/文学部)  
松川 節 (教授/社会学部)  
山本 和彦 (教授/文学部)  
渡部 洋 (教授/国際学部)  
【事務職員】  
金 厚志 (教育研究支援部)  
2026年3月31日付(各通)

## —— 契約期間満了による退職 ——

【教育職員】  
林 正幸 (特別契約教授/教育学部)  
小川 直人 (任期制講師/文学部)  
北山 敏秀 (任期制講師/文学部)  
橋口 昌治 (任期制講師/社会学部)  
吹田 隆徳 (任期制助教/文学部)  
藤井 了興 (任期制助教/文学部)  
宗 周太郎 (任期制助教/文学部)  
【事務系嘱託】  
芦田 菜 (教育研究支援部)  
今西賀津美 (企画・入試部)  
掛江 美里 (学生支援部)  
倉田 光 (学生支援部)  
中上ゆかり (学生支援部)

【寮監】  
藤永 樹心 (貫練学寮)  
【学習支援主任アドバイザー】  
平田 公威  
【学習支援アドバイザー】  
丹上麻里江  
花房 ともえ  
深町 博史  
柳田 和哉  
【PD研究員(真宗総合研究所東京分室)】  
鶴留 正智  
2026年3月31日付(各通)

## —— 退職 ——

【教育職員】  
西村 美紀 (准教授/教育学部)  
岡部 茜 (講師/社会学部)  
川瀬 綾子 (講師/文学部)  
亀山 裕樹 (任期制助教/社会学部)  
松田 祥平 (任期制助教/文学部)  
渡辺 拓也 (任期制助教/社会学部)  
2026年3月31日付(各通)

【事務職員】  
松田 純佳 (学生支援部)  
2025年6月30日付  
津田 尚依 (学生支援部)  
平出 桃実 (総務部)  
2025年10月31日付(各通)

【事務系嘱託】  
大蔵 美弥 (企画・入試部)  
2025年6月30日付  
井口 愛 (学生支援部)  
不動 真依 (総務部)  
2025年10月31日付(各通)

## —— 新規採用 ——

【教育職員】  
山下真由美 (講師/文学部)  
2025年9月1日付  
河野 有時 (教授/文学部)  
小川 直人 (准教授/文学部)  
門松 愛 (准教授/教育学部)  
國重 初美 (准教授/教育学部)  
朴 美暎 (准教授/社会学部)  
古川 直子 (准教授/社会学部)  
山本 重人 (准教授/社会学部)  
北山 敏秀 (講師/文学部)  
高井 龍 (講師/国際学部)  
西山 剛 (講師/国際学部)  
橋口 昌治 (講師/社会学部)  
松坂 雅子 (講師/文学部)  
渡辺 拓也 (講師/社会学部)  
金 瑛 (任期制講師/社会学部)  
小河 寛和 (任期制助教/国際学部)

魏 藝 (任期制助教/文学部)  
江 楠 (任期制助教/社会学部)  
彭 皓 (任期制助教/文学部)  
【事務職員】  
福岡 瑞世 (総務部付)  
河村明日香 (総務部付)  
西田 梨子 (総務部付)  
2026年4月1日付(各通)

【事務系嘱託】  
安藤 凜 (総務部)  
小山 凜 (企画・入試部)  
藤本由佳子 (教育研究支援部)  
2025年10月1日付(各通)

石井美寿々 (学生支援部)  
井上 沙季 (総務部)  
竹島 史香 (学生支援部)  
田中 雅子 (企画・入試部)  
三谷友佳子 (学生支援部)  
リ シュ (学生支援部)  
2026年4月1日付(各通)

【校医】  
山口 智美  
2025年6月1日付

【寮監】  
橘 智海 (貫練学寮)  
【学習支援主任アドバイザー】  
藤田 里実  
【学習支援アドバイザー】  
飯島 剛将  
辻田 明子  
萬田 恵子  
【PD研究員(真宗総合研究所東京分室)】  
藤井 了興  
2026年4月1日付(各通)

## —— 昇 格 ——

【教授】  
赤澤 清孝 (社会学部)  
池永 真義 (教育学部)  
岡村明日香 (教育学部)  
梶井 大輔 (教育学部)  
川端 泰幸 (文学部)  
木塚 勝豊 (教育学部)  
西本 祐攝 (文学部)  
藤元 雅文 (文学部)  
【准教授】  
古谷 伸子 (社会学部)  
ターンブル ブレイク A. (国際学部)  
寺川 直樹 (教育学部)  
野村 実 (社会学部)  
2026年4月1日付(各通)

広告



# 高 島 秋 講

8月20日(木)～24日(月)

東館 紹見 師 大谷派擬講 大谷大学教授  
前大谷大学同窓会理事長

講義:『親鸞聖人伝絵』考察  
法話:親鸞聖人のご生涯に聞く

恵日山 長 光 寺

住職 采翠見(大谷大学同窓生)

滋賀県高島市マキノ町寺久保915  
電話: 0740-27-0127

江戸時代より200年以上つづく  
近江湖西・高島の学場です。  
どなたでもご来聴ください。

主催 高島秋講北部発起団



浄土真宗の  
法話案内



2026年度から「生涯学習講座 特別講座」がスタートします!

## 「生涯学習講座 特別講座」(全4回)

【テーマ】学びの交差点 ―寄りそう知性―

今“考えること”の世界では、AIの台頭が大きな影響を与えています。AIは提示された問いに関連する“知”をもとに、最適であると考えられる答えを提示します。私たち人間は提示された情報を受け止め続けると、やがて“考えること”をやめるのでしょうか。“考えること”を放棄する世界は、私たちにどのような未来を拓き、また何を奪うのでしょうか。

大谷大学の人文社会科学の知性を結集し、改めて人間が「考えること」の意義を問い直します。「対話」を通して「考えること」の意義を問う講座のはじまりは哲学から……。

お申し込み

大谷大学  
生涯学習講座

開催日 【第1回】2026年8月2日(日)15:00~16:30

登壇 1.本学哲学科教員

2.鷲田 清一 氏(哲学者／大阪大学名誉教授／大谷大学元教授)

会場 K101教室

費用 無 料

申込 右記の二次元コードより

備考

本講座では、登壇者からの講義ののち、ゲスト×木越学長×大谷大学の教員によるトークセッションも行います。2026年度は4つのテーマで実施予定です。詳細は大学ホームページにて公開します。



鷲田 清一 氏

大谷大学教育研究支援課(TEL 075-411-8161)



## 大竹 鑑 名誉教授を偲んで

2025年9月29日に大竹鑑先生がご逝去されました。

先生は1936年に浄土宗西山派の寺院にお生まれになり、京都大学教育学部卒業後、京都大学大学院教育学研究科博士課程教育学専攻を経て1968年に本学にご着任され、2002年に定年退職されるまで本学の教育研究にご尽力くださいました。この間、1980年度に短期大学部長をお務めになりました。

先生のご専門は教育哲学ですが、戦後の授業論や宗教教育、中国の教育改革などにも関心をお持ちでした。本学では教育原論や道徳教育など教職課程の科目や教育学コースの学科専門科目をご担当になり、大学院では哲学専攻教育学コースにて中国人留学生のご指導にもあたられました。

大竹先生との出会いは、1985年に関西教育学会で学会発表をした時です。その後、縁あって本学に入職し、ご退職までの12年間教育学コースで大変お世話になりました。かれこれ30年以上昔の話ですが、教育学コースで城崎に研修旅行に行き、水族館で足に障がいのある学生が車いすを借りました。交替で車いすを押して段差を持ち上げて移動しましたが、大竹先生が率先して援助してくださったことが強く印象に残っています。

大竹先生、本当に有難うございました。深く感謝いたします。

大谷大学教授 関口 敏美

## 敬 弔

ご生前のご功労を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

※同窓会本部

2026年3月31日現在 掌握分

調 俊明 文学部 (1972) 2013/04/11  
 宮本 現昭 博 士 (1978) 2020/02/20  
 小浦 史雄 文学部 (1985) 2023/05/03  
 岩壁勇次郎 修 士 (2009) 2023/12/14  
 稲田 育嗣 文学部 (1973) 2024/02/05  
 仲谷 龍男 文学部 (1977) 2024/04/06  
 玉井 寛之 文学部 (2007) 2024/04/14  
 市橋 弘道 博 士 (1968) 2024/05/28  
 千原 信雄 大学部 (1951) 2024/07/11  
 八幡 道夫 文学部 (1977) 2024/07/14  
 暁鳥 照夫 文学部 (1972) 2024/08/25  
 鷺尾 弘文 大学部 (1952) 2024/09/21  
 清滝 一浄 文学部 (1955) 2024/09/23  
 安武 智菱 文学部 (1957) 2024/10/02  
 木下 宣之 修 士 (1979) 2024/10/27  
 今岡 照順 文学部 (1960) 2024/11/02  
 喜多山恵邦 短 期 (1969) 2024/11/08  
 井波 純昭 文学部 (1963) 2024/11/21  
 川口 光壽 短 期 (1972) 2024/11/25  
 飯村 英章 文学部 (1991) 2024/12/01  
 岩佐 龍義 大学部 (1954) 2024/12/20  
 田村 秀栄 短 期 (1971) 2025/01/01  
 斉藤 正観 文学部 (1962) 2025/01/03  
 小島 恵昭 博 士 (1978) 2025/01/05  
 増山 了昭 文学部 (1960) 2025/01/07  
 杉本 了 大学部 (1954) 2025/01/11  
 市川 智淳 短 期 (1958) 2025/01/12  
 権藤 正樹 修 士 (1962) 2025/01/12  
 立島 了 文学部 (1964) 2025/01/23  
 東野 弘明 短 期 (1990) 2025/01/31  
 廣住 文思 短 期 (1980) 2025/02/04  
 小林 俊道 文学部 (1960) 2025/02/05  
 澤田 正人 修 士 (1970) 2025/02/08  
 藤井 滉丸 文学部 (1955) 2025/02/09  
 安居 堯雄 大学部 (1951) 2025/02/14  
 結城 修 短 期 (1951) 2025/02/14  
 桑谷 芳道 文学部 (1957) 2025/02/16  
 高橋 憲昭 会 友 (一) 2025/02/17  
 大和 直勝 短 期 (1963) 2025/02/24  
 藤田 徹也 文学部 (1983) 2025/02/25  
 山田 正韶 修 士 (1967) 2025/02/27

松涛 秀道 文学部 (1962) 2025/03/08  
 鶴松 瑩 修 士 (1968) 2025/03/17  
 森口 勝 文学部 (1973) 2025/03/19  
 中田 直和 文学部 (1977) 2025/03/20  
 東谷 智 文学部 (1980) 2025/03/22  
 土岐 賢誠 文学部 (1963) 2025/03/24  
 徳田 良明 文学部 (1972) 2025/03/27  
 三藤 省瑞 短 期 (1957) 2025/03/27  
 東 良昭 短 期 (1957) 2025/04/02  
 永嶋 美和 短 期 (1984) 2025/04/02  
 川崎 廣行 文学部 (1980) 2025/04/03  
 和田 究 修 士 (1973) 2025/04/06  
 高橋真理子 文学部 (1978) 2025/04/12  
 廣瀬 海宗 文学部 (1959) 2025/04/12  
 立華 浩 短 期 (1964) 2025/04/20  
 佐野 賢正 文学部 (1968) 2025/04/25  
 中澤 成晃 修 士 (1957) 2025/04/26  
 三浦 雍子 短 期 (1964) 2025/04/30  
 中村 了権 文学部 (1959) 2025/05/05  
 国枝 智 文学部 (1957) 2025/05/09  
 古角 智子 文学部 (1978) 2025/05/09  
 秋月 尚友 文学部 (1956) 2025/05/12  
 大河内存無 大学部 (1949) 2025/05/12  
 相馬 法静 文学部 (1970) 2025/05/15  
 岸上 正 文学部 (1967) 2025/05/16  
 山香 英唐 文学部 (1957) 2025/05/17  
 羽賀 等 短 期 (1969) 2025/05/30  
 明石 祐暁 文学部 (1957) 2025/06/09  
 北畠 修 大学部 (1953) 2025/06/09  
 松浦 敬真 短 期 (1992) 2025/06/12  
 佐伯 淳 文学部 (1976) 2025/06/27  
 池田 勇諦 博 士 (1961) 2025/06/29  
 輝川 敬忠 文学部 (1965) 2025/06/30  
 野口 定雄 文学部 (1964) 2025/07/02  
 伊藤 彰道 文学部 (1976) 2025/07/07  
 林 恒昭 文学部 (1964) 2025/07/09  
 中戸 義賢 文学部 (1955) 2025/07/13  
 畠山 一彦 文学部 (1957) 2025/07/17  
 宮田 徳邦 大学部 (1950) 2025/07/17  
 大野 章允 文学部 (1961) 2025/07/20  
 天野 知行 修 士 (1973) 2025/07/29

島 直樹 文学部 (1979) 2025/08/10  
 万年 元雄 大学部 (1950) 2025/08/11  
 樫葉 智章 短 期 (1968) 2025/08/11  
 青山 周 文学部 (1996) 2025/08/12  
 西山 哲 短 期 (1957) 2025/08/13  
 藤原 亮照 文学部 (1963) 2025/08/13  
 亀井 廣道 文学部 (1967) 2025/08/18  
 藤野 雅豊 文学部 (1955) 2025/08/19  
 木村 康宏 文学部 (2006) 2025/08/24  
 楠 勳 文学部 (1959) 2025/08/25  
 大澤 伸雄 文学部 (1977) 2025/08/26  
 澤面 章 短 期 (1957) 2025/08/26  
 廣瀬 季 文学部 (1976) 2025/08/27  
 松山 成慶 文学部 (1957) 2025/08/31  
 中条 峴山 文学部 (1959) 2025/09/04  
 岩永 證圓 文学部 (1959) 2025/09/05  
 伊与田兼明 文学部 (1971) 2025/09/08  
 駒月 善見 文学部 (1956) 2025/09/08  
 井上 法英 文学部 (1970) 2025/09/12  
 本間 正順 修 士 (1974) 2025/09/17  
 大竹 鑑 会 友 (一) 2025/09/29  
 和気 孝友 文学部 (1969) 2025/10/07  
 菊地 耕 文学部 (1952) 2025/10/18  
 藤並 崇 文学部 (1968) 2025/10/21  
 武田 美輪 短 期 (1978) 2025/11/01  
 枝川 慶信 文学部 (1961) 2025/11/05  
 西田 祐章 文学部 (1965) 2025/11/14  
 長田 裕照 文学部 (1966) 2025/11/27  
 八木 昭 大学部 (1950) 2025/12/01  
 藤谷 勉 文学部 (1955) 2025/12/06  
 西山 恵雄 文学部 (1957) 2025/12/10  
 貫 正臣 文学部 (1964) 2025/12/12  
 佐竹 宏信 短 期 (1955) 2025/12/13  
 稲垣 淳造 博 士 (1977) 2025/12/28  
 雪山 康利 文学部 (1957) 2025/12/31  
 岡部 丈二 文学部 (1985) 2026/01/12  
 平野 一成 文学部 (1963) 2026/01/16  
 天白 義暉 文学部 (1955) 2026/01/23  
 滋野 憲雄 修 士 (1973) 2026/02/21  
 三浦 祐伸 文学部 (1957) 2026/02/23

( )内は最終卒業・修了年度(敬称略) ※年月日はご逝去された日付(逝去日・五十音順)

大谷大学同窓会の発展にご尽力賜りま  
 した元役員・支部長のご逝去について、  
 謹んでご報告申し上げます。

斉藤 正観氏 〈1987年～2002年 十勝支部長〉  
 安居 堯雄氏 〈1995年～1999年 高岡支部長〉  
 桑谷 芳道氏 〈1981年～1992年 旭川支部長〉  
 廣瀬 海宗氏 〈2007年～2012年 久留米支部長〉

宮田 徳邦氏 〈1990年～2017年 岐阜支部長〉  
 枝川 慶信氏 〈2013年～2016年 秋田支部長〉  
 滋野 憲雄氏 〈2012年～2018年 上越支部長〉  
 三浦 祐伸氏 〈2001年～2009年 函館支部長〉

HAPPY  
WEDDING

## ご結婚おめでとうございます

幸せなご家庭を築かれることを念じ申し上げます。

阪下 大介 (2007・文学部) ♥ 鷯鷯 花梨  
 奥野ほたる (会友) ♥ 竹沢 駿人  
 北村 悠人 (2020・文学部) ♥ 池田佳菜子

譲 西誓 (2014・修士) ♥ 渡邊 仁美  
 鎌田 大翔 (2023・文学部) ♥ 山崎 友梨 (2016・文学部)  
 磯島 浩貴 (会友) ♥ 堀江かずみ

※大谷大学専源講堂での仏前結婚式をお受けしています。お問い合わせは、大谷大学総務課(TEL 075-411-8163)まで。

( )内は最終卒業・修了年度(敬称略) ※同窓会本部 2026年3月31日現在 連絡分 順不同



# 同期会OB・OG会

## 開催報告

2025年3月～2026年2月までに行われた各団体の行事を紹介しています。  
開催報告のコメント等、詳細は同窓会ホームページをご覧ください。

\*ホームページでは写真を拡大してご覧いただけます。

<http://www.mujiinto-otani.org/activity/kokuti.html>



大谷大学  
ワンダーフォーゲル同好会  
創部五十周年記念同窓会

2025  
3/1



バドミントン部OB・OG会

2025  
3/1



2024年度卓球部  
後援会懇親会・卓球大会

2025  
3/1



宮崎健司先生  
最終講義および囲む会

2025  
3/8



2011年卒業  
加来ゼミ同期会

2025  
3/8



自灯学寮第8期生同期会

2025  
3/14



國賀由美子先生  
最終講義および囲む会

2025  
3/15



井上尚実先生  
最終講義及び謝恩会

2025  
3/15



昭和53年卒業文学部  
史学科1-2回生メンバー  
小川一乗先生を囲む会

2025  
3/17





1971年入寮  
育英学寮同期会

2025  
4/14



1970～1980年卒業  
軟式テニス部OB・OG会  
追弔会

2025  
4/21



1984年卒業 福島ゼミ  
福島光哉先生追弔法要  
並びに 同期会

2025  
5/11



1978年度卒  
広瀬ゼミ同期会(第7回)

2025  
5/12



1974年入学  
短期大学部仏教科同期会

2025  
5/19



1976年(昭和51年)入学  
育英学寮同期会

2025  
5/25



道交会総会  
(柔道部OB・OG会)

2025  
6/3



2008年卒業  
宮崎健司ゼミ同窓会

2025  
6/7



1973～1975年度入寮  
下鴨学寮同期会

2025  
6/9



大谷大学倫理学ゼミ  
同窓会(麻阿陀会)

2025  
6/21



第51回浄眼洞  
(山田亮賢門下生の会)  
研修会

2025  
6/24



1968年入寮  
育英学寮同期会

2025  
6/26





2003年度卒業  
学園祭実行委員会  
“近畿圏在住”OB・OG会

2025  
7/5



大谷大学短期大学部  
仏教科 1994年卒業  
同窓会

2025  
7/20



1970～1975年度卒業  
硬式野球部拡大同窓会

2025  
7/21



2013年度卒業  
志藤修史ゼミ同期会

2025  
8/1



文学部教育・心理学科  
1期生同期会

2025  
8/2



大谷大学バスケットボール  
OB・OG会

2025  
8/2



2003年～2005年度卒業  
大谷大学書道部  
OB・OG会

2025  
8/6



1976年～1983年度入学  
大谷大学映画研究部  
OB・OG会

2025  
8/23



平成元年度卒業  
文学部国史学分野  
大桑ゼミ同期会

2025  
9/13



1997年入寮  
自灯学寮同期会

2025  
9/14



混声合唱団  
OB・OG会総会+歌う会

2025  
9/20



1997年卒業短期仏教科  
Bクラス同期会  
(担当教員:木村先生・加来先生)

2025  
9/28





大谷大学短期大学部  
幼児教育科2期(1969年)  
卒業生同窓会

2025  
10/1



2022年卒業  
文学部歴史学科  
大艸啓ゼミ同期会

2025  
10/25



1968年(昭和43年)入学  
雲井昭善1Dクラス  
「雲の糸」同期会

2025  
10/28



1974年卒業  
幼児教育科7期生同窓会

2025  
11/4



大谷大学男声合唱団OB会  
コールリンデンクラブ

2025  
11/8



2016~2020年度卒業  
大谷大学写真部OB・OG会

2025  
11/8



2024年度卒業  
第33期宮崎健司ゼミ  
同期会

2025  
11/8



石橋義秀先生を囲む会  
(1988年卒業  
短期国文科同期会)

2025  
11/8



2025年卒業  
志藤修史ゼミ同期会

2025  
11/22



1968年  
育英学寮入寮OB会  
in本山報恩講・御満座

2025  
11/27・28



昭和48~60年卒業  
児童文化研究会OB・OG会

2025  
11/29



大谷大学空手道部  
創部70周年記念  
追弔会・総会・懇親会

2026  
1/24





1994年入寮  
貫練学寮同期会

2026  
2/7



2003年度卒業  
学園祭実行委員会  
“西日本在住”OB・OG会

2026  
2/7



三木彰円先生  
還暦記念講演会  
並びに懇親会  
〈2019年～2024年度卒業  
三木彰円ゼミ同期会〉

2026  
2/20



1995年入寮  
知真学寮同期会

2026  
2/22・23



松川節教授 退任祝賀会

2026  
2/28



2025年度卓球部後援会  
懇親会・卓球大会

2026  
2/28

## 同期会、OB・OG会開催方法のご案内

同期会やOB・OG会の開催にあたり、同窓会本部では以下のサポートを行っています。開催の際はぜひご連絡ください。

※対象者すべての方（例：ゼミ全員）への案内が条件となります。

### Support 1 大学施設の利用・学内見学ができます

学内施設または湖西キャンパスセミナーハウスが利用できます（学内でのケータリング可）。希望される場合は、日程決定前に、同窓会本部へご相談ください。

### Support 2 連絡用名簿・宛名ラベルがもらえます

提供までに10日～2週間程度必要です。※個人的な事由での提供は行っていません。

### Support 3 同窓会ホームページで開催告知ができます

開催日・会場・幹事名を掲載します。

### Support 4 開催の助成金がもらえます

通信費の一部として助成金（1万円／2026年1月現在）をお渡ししています。対象者全員（例：ゼミ全員）への案内が助成条件です。

### Support 5 同窓会ホームページ・同窓会報『無盡燈』に、開催報告（写真・コメント）が掲載されます

助成金を受け取った場合、掲載は必須です。

お問合せ先

大谷大学同窓会本部  
（大谷大学校友センター内）

TEL 075-411-8124  
E-mail kouyu@sec.otani.ac.jp

FAX 075-411-8157

開室時間 9:00～17:00（11:30～12:30 土・日・祝除く）



Nagasaki

Saga

2026 1/29

在学生による

県人会を開催しました！

大谷大学九州出身者の集い

Kumamoto

Kagoshima

Miyazaki

Fukuoka

Oita

# 現任教員からのお便り

## 「反面教師」

教育学部教育学科：初等教育コース 教授

関口 敏美



老舗女子大の共学化や募集停止が相次いだ。私も女子大出身だが、女子大は今の時代には合わなくなったのだろう。戦前の大学令では女子大学は存在せず、老舗女子大の前身は旧制女子専門学校である。戦後、新制大学への切り替えと共に女子大学が認可され、高度経済成長期の進学率上昇により女子大・女子短大が急増したのだ。

本学に就職した90年代初頭は、短期大学部からの3年次編入者も多かった。周囲から「女子は短大でいい」と言われたが、2年間で家族を説得したと語る学生もいた。授業で高度経済成長期の状況を説明しても、今の学生には、「女子は短大（あるいは女子大）でいい」という社会の価値観が女子の進路を制限した時代を想像しにくいようだ。

小6時の担任（男性）が、一般論として「中高に進むと女子は成績が伸び止まるが、男子は大器晩成型が多い」と発言したことが今も忘れられない。おそらくは悪

気なく当時の社会的な常識を口にただけなのだろうが、「女子はどうせ専業主婦になるのだから成績が伸びなくても大丈夫」と言われたような気がして嫌な感じがした。

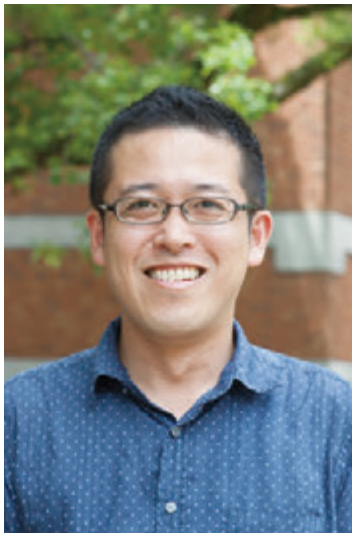
専業主婦率が高かった時代から半世紀が過ぎ、今や専業主婦は絶滅危惧種である。男女共に就労することが当然だと考えれば、性別役割分業型家族を前提とする女子教育が衰えるのは自然の成り行きだ。現在の女子たちが進路選択で葛藤しなくてもよくなったこと自体は、社会変化の方向としては悪いことではない。

50年もたてば、徐々に社会の価値観も変わる。教育学部で小学校教員養成に携わりつつ思うことは、社会を動かす側に自分も在ることを意識して子どもたちと関わってほしいということだ。悪気なく子どもの未来に呪いの言葉を吐くことがないように。私が教育史に進んだきっかけは小6時の担任に対する違和感だったのかもしれない。

## 変わらないために、 変わり続ける

国際学部国際文化学科 教授

廣川 智貴



同窓生のみなさま、いかがお過ごしでしょうか。国際学部でドイツ文化を担当しております廣川と申します。谷大の教壇に立ってから早いもので約20年が経過しました。年齢も50を過ぎ、最近ではドイツ文学を学びはじめた頃のことをよく思い出します。この大学でドイツ文学を学べるとも知らずに入学した私でしたが、友田孝興先生、禿憲仁先生、大河内了義先生、アルブレヒト・デッケ＝コルニル先生といった、素晴らしい先生方のご指導のおかげで、ドイツ文学を学ぶのみならず、いつしかそれを生業とするようになりました。この4名の先生方におよそ2時間にわたって口述試問をしていただいたのもよい思い出です。

当時のキャンパスは現在のそれとはまったく別のものでした。慶聞館のあるところには図書館があり、響流館は体育館でした。変わったのは建物だけではありません。私が学び、教員として着任した伝統ある文学部ドイツ文学コースも、大学改編のため残念ながら今は存在しません。卒業生から「さみしい」という声を聞くと、私の

胸は今でも痛みます。でも、あることがきっかけで、少しずつ前向きに考えられるようになりました。

創業数百年という京都の某老舗企業を訪問したときのことです。開口一番、担当の方はこう話されました。「私どもは変わらないために、変わり続けております」。ふと自分のことのように思いました。たしかにドイツ文学コースはもうない。でも、これまで受け継がれてきた伝統の中に私が生きていると気づいたからです。授業をしていると、当時の先生ならどう説明されるだろうかと考えることがよくあります。そしてそれを学生に伝えるのが私の日常です。とてもささやかな例ですが、これが私には伝統、変わらないものであるように思われます。より魅力ある大学となるために、これからも谷大は変わってゆくでしょう。でもご安心ください。それは変わらないためなのです。卒業生のみなさまには、そのような母校をあたたく見守っていただければ幸いです。



# 同窓会費の納入について (ご協力依頼)

同窓会は、同窓生の皆さまにご納入いただく「同窓会費(終身会費と年会費)」と「寄付金」を活動資金として事業を行っています。同窓会活動にご理解とご支援を賜り、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

- **会員区分について** 卒業年度により「会員区分」が異なります。ご自身の会員区分をご確認ください。  
同窓会報『無盡燈』の宛名ラベルに所属の会員区分が記載されています。

| 会員区分      |                                                                                                              | ご依頼内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |         |               |           |    |         |       |         |           |  |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|---------------|-----------|----|---------|-------|---------|-----------|--|
| 一般会員      | <p>①1990年度以前の卒業・修了生のうち、「終身会員」ではない方</p> <p>同封の振込取扱票(振込手数料無料)を使用し、右記の【A】【B】のいずれかの方法により、会費納入をお願いいたします。</p>      | <p>【A】毎年、「年会費 3,000円」を納入する。</p> <p>【B】「終身会費 30,000円」を納入し、終身会員に変更する。</p> <p>振込取扱票を使用されない場合は、以下の口座に振込をお願いいたします。</p> <p>同窓会費・寄付金専用口座<br/>〈ゆうちょ銀行〉</p> <table><tr><td>振 替 口 座</td><td>01020-9-20542</td></tr><tr><td>(支 店) 一〇九</td><td>当座</td></tr><tr><td>口 座 番 号</td><td>20542</td></tr><tr><td>加 入 者 名</td><td>大谷大学同窓会本部</td></tr></table> | 振 替 口 座 | 01020-9-20542 | (支 店) 一〇九 | 当座 | 口 座 番 号 | 20542 | 加 入 者 名 | 大谷大学同窓会本部 |  |
|           | 振 替 口 座                                                                                                      | 01020-9-20542                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |         |               |           |    |         |       |         |           |  |
| (支 店) 一〇九 | 当座                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |         |               |           |    |         |       |         |           |  |
| 口 座 番 号   | 20542                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |         |               |           |    |         |       |         |           |  |
| 加 入 者 名   | 大谷大学同窓会本部                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |         |               |           |    |         |       |         |           |  |
| 終身会員      | <p>①1990年度以前の卒業・修了生のうち、「終身会費 30,000円」を納入した方</p> <p>②1991年度以降の卒業・修了生のうち、卒業・修了年次の学費納入時、「終身会費30,000円」を納入した方</p> | <p>同封の振込取扱票(振込手数料無料)、もしくは上記「同窓会費・寄付金専用口座」ご利用いただき、寄付金の納入に、ご協力をお願いいたします</p>                                                                                                                                                                                                                                                                 |         |               |           |    |         |       |         |           |  |

## 同窓会員向けサービス

### ご住所の変更連絡

同窓会本部では、同窓会員の住所・氏名を管理しています。会報誌、同期会等各種郵送物の宛先となりますので、氏名・住所に変更がある場合は、同窓会本部へご連絡または、以下のメールフォームをご利用ください。

大谷大学ホームページ  
会員の住所変更



### 図書館・博物館のご利用

同窓生は、大谷大学の図書館、博物館(特別展無料)を利用することができます。ただし、図書館の利用には、利用証申請手続きが必要です。詳細については、大学ホームページをご確認ください。

大谷大学図書館



大谷大学博物館



### 各種証明書の申込み

証明書等の発行については、電話または窓口で申し込むことができます。発行には手数料が必要となります。詳細は大学ホームページをご確認ください。

大谷大学各種証明書



### ご結婚のお知らせ

同窓会員がご結婚される際には、同窓会より祝電をお送りします。また、同窓会報『無盡燈』にてご結婚のご報告をさせていただきますので同窓会本部へご連絡ください。

大谷大学内で仏前結婚式

尋源館(登録有形文化財)2階にある尋源講堂で、仏前結婚式を行うことができます。

仏前結婚式の問合せ先  
大谷大学総務課  
TEL : 075-411-8163



# ご寄付について

ご寄付に関する問い合わせ先  
大谷大学教育振興資金局

TEL:075-411-8124

大谷大学では、教育研究の充実を図るため、募金活動を行っています。ご寄付いただいた資金は、教育・研究の充実を図るため環境整備に充ててまいります。【本学への寄付は、税法上の優遇措置を受けることができます。】

## OTANI Education Fund(教育振興資金募金)

ご寄付の方法については、[大谷大学寄付募金WEBサイト]をご確認ください。クレジットカード決済、払込取扱票による振込などご希望の方法をご利用いただけます。

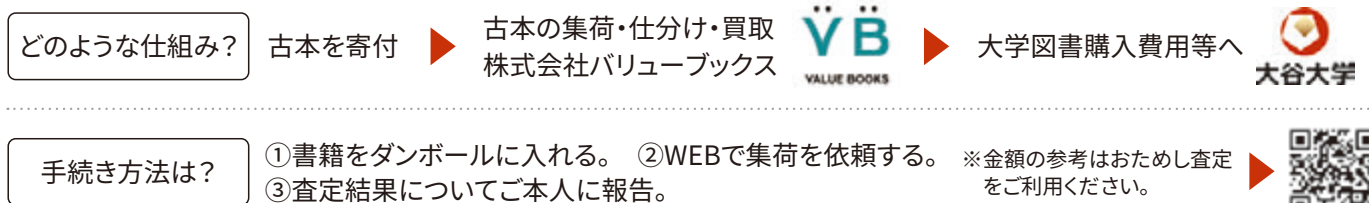


[2025年4月1日～2026年3月31日寄付者一覧] 寄付者総数:59件／寄付金総額:10,870,000円

|    |                               |             |              |                                      |             |              |
|----|-------------------------------|-------------|--------------|--------------------------------------|-------------|--------------|
| 個人 | 赤嶺 順子 (滋賀県)                   | 樹下 太郎 (愛知県) | 澤田 康英 (兵庫県)  | 寺本 隆人 (滋賀県)                          | 本多 暁 (神奈川県) | 美濃部 俊裕 (滋賀県) |
|    | 浅井 香奈 (高知県)                   | 金 京子 (大阪府)  | 茂森 輝久 (滋賀県)  | 難波 明則 (大阪府)                          | 槇 俊裕 (神奈川県) | 三保谷 順 (愛知県)  |
|    | 渥美 雅裕 (静岡県)                   | 楠 理見 (愛知県)  | 篠岡 誓法 (大阪府)  | 橋本 直信 (京都府)                          | 松井 健 (滋賀県)  | 宮内 真規 (大阪府)  |
|    | 池谷 成人 (京都府)                   | 小谷 延人 (京都府) | 末永 弘暢 (長崎県)  | 比嘉 秀一 (沖縄県)                          | 松崎 勤 (北海道)  | 吉田 妙快 (熊本県)  |
|    | 岩田 理恵 (三重県)                   | 小林 智彦 (兵庫県) | 管井 晃 (新潟県)   | 藤山 吉史 (石川県)                          | 松濤 志道 (福岡県) | 吉田 由人 (滋賀県)  |
| 法人 | 片岡 直子 (滋賀県)                   | 駒水 勉 (千葉県)  | 高比良 陽子 (長崎県) | 古川 公彦 (長崎県)                          | 溝川 浩治 (京都府) | 若山 猛 (広島県)   |
|    |                               |             |              |                                      |             | (匿名17件)      |
| 法人 | 長圓寺 佐々木 敬 (静岡県)               |             |              | NPO法人尋源舎 理事長 東館 紹見 (京都府)             |             |              |
|    | 東光寺 英 信哉 (愛知県)                |             |              | 長谷川体育施設株式会社 関西支店 執行役員支店長 川村 直樹 (大阪府) |             |              |
|    | 有限会社 石間企画事務所 代表取締役 石間 裕 (東京都) |             |              | (匿名1件)                               |             |              |

## OTANI古本project

本やDVDの買い取り価格が大谷大学への寄付となり、大学の図書購入費用等に充てられます。  
2018年6月から2026年3月までに6,381冊(193,012円分)の本をお送りいただきました。



注) ISBNの無い本、雑誌、百科事典、コンビニコミックはご寄付いただけません。「おためし査定」で査定額が出るものはご寄付可能です。

## 京都市ふるさと納税を通じたご支援

京都市ふるさと納税では返礼品の受け取りとともに、寄付額の一部を本学への寄付とすることができます。本学学生による地域連携活動の支援として充てられますので、ふるさと納税の際は、「寄付の使い道」として「京都の大学・大学生の活動を応援」、そして「大谷大学」をお選びください。

※京都市にお住まいの方は、返礼品のお受け取りができません。



さとふる・ふるさとチョイスなど、  
京都市掲載サイトからお手続きください。

大谷大学の地域連携  
活動について。



京都市ふるさと納税に  
ついて。





Club introduction  
クラブ紹介

# 大谷大学写真部

「写真を通してつながりを広げる」



大谷大学写真部です。

写真部には現在38名の部員が所属し、月に1回の撮影会、半年に一回の学内写真展を行っています。撮影会では、京都の大学という点を活かし、寺社仏閣や四季折々の風景をテーマに撮影を行っています。春の桜や秋の紅葉など、季節ごとに異なる表情を見せる景色を切り取り、それぞれの視点で表現しています。

2025年度は大谷大学美術部とのコラボレーション企画展として、写真部の写真と美術部の絵とのコラボ作品展を実施しました。

他にも、大谷大学公式Instagramとコラボしており、月に一度、「OTANI PHOTO」として、部員が撮影した写真を提供し、投稿いただいております。

また、地域の方からもお声がけをいただき、北大路商店街のInstagramでも写真を投稿していただきました。写真を通して地域の方との関わりも増え、とても有意義な活動をさせていただくことができました。

今後もより一層、写真部としての活動に力を入れていく予定です。

写真展の開催は、写真部のSNSにてお知らせしております。機会がございましたらぜひお立ち寄りください。

最後になりましたが、ご卒業された先輩方、これからも写真部の発展に力を入れていきたいと思っております。温かく見守っていただけますと幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

大谷大学写真部 石田 七恵



OTANI\_PHOTO

大谷大学写真部  
Instagram



KITAOHJI\_DISCOVERY

北大路DISCOVERY  
Instagram



OTANI\_UNIV

大谷大学  
Instagram

お近くの高校生に  
ご紹介ください!!

## OPEN CAMPUS

オープンキャンパス 2026

7.20 月・祝 7.25 土

8.2 日 8.22 土

9.20 日 12.13 日

2027  
3.21 日

祝日オープンキャンパス /

7.20(月・祝)は授業実施日!

大谷大学の授業風景が見られる特別な一日

大学  
紹介

学び  
紹介

個別  
相談

キャンパス  
ツアー



注目プログラム!

参加型ワークショップ

ここにしかない参加型のプログラムで学科の学びがさらに深まる!

充実の入試対策!

- 小論文型入試セミナー 7/25(土)
  - 公募制推薦入試(小論文型)実践講座 8/2(日)
  - 入試対策講座(模擬試験と解説) 9/20(日), 9/27(日)
- 駿台予備学校講師および本学教員が解説を行います。  
※9/27(日)は滋賀県草津市にて開催

申し込み

事前申込みいただくと  
当日受付がスムーズです

申し込みは  
こちらから



保護者の方のみも大歓迎! ※同伴者の申し込みは不要です

※オープンキャンパス各日程の実施時間・プログラムは大学HPを参照。



## 大学グッズ

オリジナルグッズ  
販売中です。  
各ホームページを  
ご確認ください。



### 大谷大学博物館

大谷大学ミュージアムショップ



## 教員出版物

出版物は随時大学  
ホームページで  
紹介しています。

大谷大学教員出版物



### 学内Yショップ

大谷大学グッズ



### 同窓会本部

同窓会グッズ



## 同窓会 ホームページ 紹介



### 「同窓生のきずな発見!! ヒロガル×ツナガル 紹介リレー」

2021年にはじまり30名を超える投稿となりました!「思い出のあの人の今は?」、「次はわたしにバトンが回ってくるかも!」そんなワクワク感を楽しんでいただけるコンテンツです。



### 「掲示板のことは」

同窓生スタッフが毎月、お寺やまちなどの掲示板に掲載することばを紹介しています。ドキッと、ここに刺さる「ことば」に出会えるかも。掲示板を紹介いただくスタッフも随時募集しています(定員あり。グループLINE加入が条件)。



## 広告 募集

### 同窓会報『無盡燈』広告掲載について

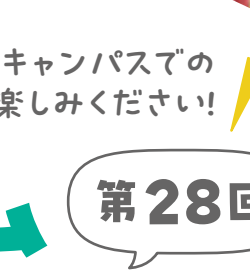
およそ39,000人(2026年4月現在)の同窓生に向けて、  
お店の紹介などの広告を掲載しませんか。掲載枠の種類は以下のとおりです。

**2枠 50,000円(税込)**  
(タテ60mm×ヨコ180mm)

**1枠 30,000円(税込)**  
(タテ60mm×ヨコ90mm)

※掲載ページの指定はできません。





懐かしいキャンパスでの  
1日をお楽しみください!

# ホーム カミングデー

第28回

要申し  
込み

11/14(土) 12:30~16:00 (雨天開催)

— 大谷大学 —

イベント詳細は、9月1日更新の同窓会ホームページを  
ご確認ください

全国各地のおいしい  
特産品があたる大抽選会もあるよ!  
(同窓会員限定)

学内では学園祭を開催!  
模擬店などをお楽しみください♪

ご家族ご友人の皆さまとお誘いあわせのうえお気軽にお越しください!

※掲載写真は昨年度のものです。

2026年6月15日発行

発行 大谷大学同窓会本部

編集 『無盡燈』編集委員会

〒603-8143

京都市北区小山上総町 大谷大学校友センター内

TEL (075) 411-8124 FAX (075) 411-8157

E-mail : kouyu@sec.otani.ac.jp

## 『無盡燈』の題字について

親鸞聖人の真蹟の『坂東本・教行信証』から集字したものです。『維摩経』に「無盡燈」というのは、譬え一つの燈をもって百千の燈をともしよう的なものである。冥やみがみな明るくなるが、その明りはついになくなることがない。…説かれた教えのとおりにみずから一切の善いことがらを増しふやす。これを無盡燈となづける」とあり、先輩がともし続けた伝統に輝く燈の名に恥じないことが願われています。

▼ 同窓会ホームページ「無盡燈」毎月1日更新! ▼

大谷大学同窓会

<http://www.mujiinto-otani.org/>



ホームページやSNSでは、同窓会の活動や同窓生の活躍、母校「大谷大学」の現況などの情報をタイムリーに発信しています!